



たちばな 11月号

〒793-0065 西条市榎木 54-1
Tel (0897) 57-9543 FAX (0897) 57-6221
eメール tachibana-k@saijo-city.jp

令和3年11月1日
橋公民館発行
通巻491号

橋校区の人口(9/30現在)
総人口 1,809人 (±0)
(男 873人) (-2)
(女 936人) (+2)
世帯数 821 (+1)

■ 中止のお知らせ
「ふるさと発見! 歩け歩け大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたします。ご理解いただきますようお願いします。

| 11月の行事予定 | | |
|--|---|--|
| 日 | 曜 | 公民館関係・地区行事 |
| 1 | 月 | 休館日 |
| 2 | 火 | 防災士定例会 (19:30~) |
| 3 | 水 | 休館日 (文化の日)  民生児童委員定例会 (19:30~) |
| 5 | 金 | さわやかクラブ世話人会 (13:30~) 橋地域未来塾 |
| 6 | 土 | 愛ちゃん教室定例会 (19:30~) 防犯協会定例会 (19:30~) |
| 8 | 月 | 休館日 |
| 12 | 金 | 橋地域未来塾 |
| 14 | 日 | 休館日 (臨時休館) |
| 15 | 月 | 休館日 |
| 16 | 火 | 食生活改善推進協議会 |
| 18 | 木 | いきいき橋 |
| 19 | 金 | 橋地域未来塾 交通安全協会定例会 (19:30~) |
| 22 | 月 | 休館日 |
| 23 | 火 | 休館日 (勤労感謝の日)  |
| 25 | 木 | 婦人会定例会 |
| 26 | 金 | 敬老の家事業 (石鎚ふれあいの里) 橋地域未来塾 |
| 28 | 日 | 休館日 (臨時休館) |
| 29 | 月 | 休館日 |
| 11月カワセミ号(移動図書館)橋公民館 10日(水曜日) 10:10~10:40 ※24日(水)は運休となりますのでご注意ください。 | | |

秋の一斉清掃

10月3日(日)、10日(日)

秋の一斉清掃を実施。橋校区のみなさんが土手の草刈り、河川や溝の清掃など力を合わせて取り組み、隅々まできれいになりました。



弘川(榎木西)



赤谷川(西泉東)



野々市集会所(野々市西)

市道拡幅工事(坂元)

令和元年度から行われている坂元西部の市道橋8号線の拡幅工事(第1期)が完了しました。今年度は66.2mに渡り延長され、道路幅が5mになりました。車両や児童が安全に通行できるようになりました。



ギャラリー橋

10月は橋小学校児童の作品を展示しています。



高齢者交通安全教室を開催します!

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。ドライビングレコーダーによる運転のチェックを行うことで、ご自身の運転技能を再確認することができます。ぜひ、ご参加ください。

○日程: ① 11月8日(月) ② 11月29日(月)

※1日あたり午前・午後の2回開催

○時間: 午前の部 9時~12時

午後の部 13時30分~16時30分

○場所: 西条ドライビングスクール(西条市石田284番地)

○対象: 市内在住のおおむね65歳以上の方で、自動車運転免許をお持ちの方

○定員: 1回20人(先着順)

○申込先: 西条市役所危機管理課くらし安全係
TEL 0897-52-1284(直通)



「ふれ愛ベンチ」設置

社会福祉協議会橋支部では、毎年「ふれ愛ベンチ」を人々が集う場所に設置し、コミュニティの広がり役立っています。今年は、西田(旧集会所前広場)に設置されました。



11月 ローソン移動販売

- 15:00~15:15 野々市集会所
- 15:20~15:35 榎木西
- 15:40~15:55 榎木集会所(阿弥陀堂)
- 16:00~16:15 西泉中
- 16:20~16:35 西泉東(民部さん)
- 16:40~16:55 西田(旧集会所)
- 17:00~17:10 相生

3日(水)
10日(水)
17日(水)
24日(水)



相生

穂・浦・歩ウォーキング大会

開催日時: 令和3年11月28日(日) 受付 8:30~ 出発式 8:50

会場: 小松中央公園多目的広場(スタート・ゴール)

コース: 小松地区の自然や施設に触れることのできる約5.8kmコース

申込締切: 11月18日(木)必着

問合せ先: 西条市スポーツ推進委員協議会事務局 (TEL0897-52-1255)

申込先: 本庁スポーツ健康課、各総合支所総務課、公民館

【俳句】



秋の空両手を伸ばし一人占め
秋晴れや芝生で猫の毛づくろい
詠み人知らず一

満天の夜空を照らす望の月
空蝉や生きたる証遺しをり
詠み人知らず三

名月や遍く照らす病む地球
縄文のヴィーナス土偶栗実る
詠み人知らず二

うばがはし

姥橋伝説(1) (檜木西)

奈良時代の終わり頃(今から1200年余り昔)、伊予の国神野郡(後の新居郡)の一宮神社(現在の新居浜市一宮町)の社家である矢野実遠の第2子に、千壽丸と呼ぶ聡明な少年がいました。小さい頃から仏を信仰し青年になって仏門に入り、上仙とも寂仙とも呼ばれていました。上仙は普段から高い山に登っては、心身を鍛錬し、また、学問を究めて、伊予の国で屈指の高僧として人々の尊敬を受けていました。そして、笹ヶ峰・瓶ヶ森・石鎚山等の霊山を次々と開き、満願寺・正法寺・善成寺等の大きな寺院も建立していったと伝えられています。

また上仙は常々天子に生まれたいと願っていて、「我、もし天子に生まれたら、郡の名をもって名字にするぞ」と弟子に言い聞かせ、臨終に際して、自分は死後28年経って天皇家に生まれ替わり「神野」と名付けられる、と言い残して亡くなりました。

これより先、橘の往還道の檜木と野々市の境辺りに、上仙を慕い続ける橘姫(橘の姥)という女性が住んでいました。熱い熱い思いは届かないまま、ついに永遠の別れとなり、上仙の死後は家財を傾けてまで供養しましたが報われることはありませんでした。大変悲しんで「和尚様に死なれては、もはやこの世に望みはない。どうか来世には一所にと生まれたいものである。」と言って死んでしまいました。

すると間もなく、平安時代になって、50代桓武天皇の第二皇子、(後の52代嵯峨天皇)が御誕生になりました。

古くから朝廷の制度として、皇子誕生の時は乳母の姓を以って名とするのですが、その乳母の名が「神野」であったところから、これを皇子の御諱(死後にいう生前の実名)としました。このお方が「神野親王」で上仙和尚の生まれ替わりと言われている。しかし、郡の名前が親王の名前と一緒にするのは恐れ多いこととして、天皇に即位された大同4年(809)、神野郡の名を改めて新居郡(旧新居浜市と旧西条市)としました。

後年に至り、橘清友の女嘉智子が帝の妃となられ、橘夫人と呼ばれるようになりました。やがて、天皇の生母として皇后となり、帝や宮廷における絶大な人望のもとに橘氏を再興し、更に発展の土台を作りました。この人こそ姥橋伝説の主である橘姫(橘の姥)の生まれ代わりと言われている。



写真左：改修された姥橋と若水川(檜木と野々市の境)

ここは太政官道(旧道)にかかるといわれています。

たちばな かしこ

橘 嘉智子〔橘の姥の主〕→橘太后夫人(2)

おおきさき

橘 嘉智子は橘清友の娘で、52代嵯峨天皇の皇后となりました。天皇が神野親王と呼ばれた時代から妃となり、20数名のライバルの内から帝の寵愛を一身に受け、大同4年(809)夫人となり、さらに弘仁6年(815)には54代仁明天皇の生母となりました。皇后と呼ばれるようになりました。手や指が大変長く、髪も地面を這うほどで、抜群の容姿を誇りました。そして、仏教を篤く信じて京都に檀林寺を創建したので、檀林皇后と呼ばれました。また、橘氏の子弟の教育のための学習塾「学館院」を建立し、橘氏発展の土台を作りました。弘仁14年(823)には皇太后(先帝の皇后)、天長10年(833)には太皇太后(先々代の天皇の皇后)となりました。



写真上：深谷寺(新居浜市篠場)

神野郡内の一宮神社(現新居浜市一宮町)は、嵯峨天皇の勅願により建立されたと言われている。この神社のほぼ真南の山裾の地に大蔵院深谷寺(現新居浜市篠場)がありますが、この寺は55代文徳天皇御宇伊予介従五位下橘朝臣安喜雄という人が寺造奉行となり、勅命によって橘太后嘉智子の菩提を弔うために建立したもので仏教興隆の道場とされました。以来、この寺は「師の道場」略して「師の場」と呼ばれ、新居郡内の郡司の子弟の学問所として栄えましたが、中世以降度重なる戦乱のため堂宇は焼失し、この地は荒れ果ててしまいました。

現在「篠場」と呼ばれるようになったこの地に深谷寺は再興され、高校の教員一家の河野氏によって寺や墓地が守られ、管理も行き届いて、脈々とその法燈は受け継がれています。

この寺の記録には、姥橋伝説に登場する姥と橘太后夫人が『日本文徳天皇実録』では同一人物であり、一宮神社には社伝に残る嵯峨天皇の勅額の奉納があったという伝承から、帝がこの地に見えられたのではないかと伝えられています。また、新居郡上島山〔飯岡〕より以西を西條といい、某以東を東條と云う・・・とも記されています。